

氏名 樋口 慧所属機関名(発表時) 国立循環器病研究センター発表学会名 ASCI2019 (口演発表)学会開催年月日 2019年 3月 21日～ 23日演題名 Evaluation of global and regional catecholamine-induced myocardial injury in patients with catecholamine-producing tumors

優秀論文賞受賞 無

学会報告記(800字程度・写真1枚)

◇本 文

この度は ASCI2019 に参加するにあたって日本心臓血管放射線研究会の学術奨励賞に選んでいただき誠にありがとうございました。私は佐久間先生が大会長を務められた ASCI 2017@京都に参加してから2回目の ASCI でした。また、今回は ASCI の開催前 3 日間で行われた ASCI CUBE にも参加させていただきました。ASCI CUBE は若手の研究を各国の心血管画像のエキスパートを含めた参加者で様々な意見を出してブラッシュアップし、今後の研究の進め方を改善し、1 ランク上のジャーナルに投稿できるようにする研究会です。統計の専門家も参加しており、私の研究に対しても非常に鋭い指摘や今後役に立つアドバイス、論文にする際のポイントなどを教えていただき、非常に勉強になりました。また、他の参加者の研究に関しても、どのようにしたらポイントを明瞭にできるかや、どのように新規性や付加価値をつけていくかなど、エキスパートたちの率直な意見を聞くことができ、今後の研究を考えていく上で非常に参考になりました。参加者とは食事の時間なども一緒に行動するため、英語が苦手な私は苦労しましたが、他の国の同じ年代の方々は流暢に会話していて、英語の学習に関しても非常に良いモチベーションとすることができました。

ASCI CUBE の 3 日間で濃密すぎて ASCI の記憶がやや薄れてしまっています。ポスター会場や口演の会場にはやや人が少なかったですが、教育講演などは盛り上がり、北海道大学の真鍋先生の心臓 MRI のご講演が素晴らしかったのが印象的でした。

また、私は国循で小児の心血管 CT を担当させていただいており、今回は東北大学の 大田先生や東京大学の 前田先生のお誘いもあり、ASCI で立ち上がった小児心血管 CT study group のミーティングに参加する事ができました。この study group はアジアの小児心血管 CT に関する情報共有やレベルアップ、均一化を目的としたミーティングで、この study group から小児心血管 CT 撮影の一般的な注意点から各社 CT の具体的な使用方法を網羅したガイドラインが KJR から publish されています。(Hong et al. KJR 2019; 20(2): 190-204) 今回はその続きの議論であり、それぞれの国の施設での小児心血管 CT の適応疾患に関するプレゼンテーションがあり、その後ディスカッションが行われました。上海の先生からは年間小児心臓手術が 3000 件と報告されており、その件数の多さに圧倒されたとともに、日本では症例の集め方に関して工夫していかないとアジアでのプレゼンスを失うのではないかと危機感を感じました。

右下の写真は ASCI CUBE で私の担当していただいた tutor の Jongmin Lee 先生と co-tutor の Yi Wei LEE 先生、通訳をしていただいた東北大学の 大田先生です。また左の写真は小児心血管 CT の study group の集合写真です。(それぞれ大田先生、前田先生の許可を得て掲載)今回はこのような貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございました。

